

平成28年度

事業報告書

自：平成28年 4月 1日

至：平成29年 3月31日

宮城県仙台市泉区上谷刈字向原3番地の30

社会福祉法人 やまとみらい福祉会
理事長 早坂 了悦

社会福祉法人やまとみらい福祉会

本部事業実績報告書

[事業報告]

平成 28 年度事業計画の基本方針として、私たちは次の 2 点を掲げて事業に取り組んだ。

第 1 は、地域社会において必要な存在として、『挑戦型社会福祉法人』へのチャレンジ。第 2 は、業務の質を上げ、効率的効果的な業務体制の構築と持続的展開である。

その実現の為、以下の項目について法人全体で取り組んだ。

①公益的取り組みの強化

地域連携、公益的取り組みについては、ケアプランセンター抱優が事業再開し、地域ケアネットワークの一員として実績を上げつつある。地域包括支援センターと連携し、認知症カフェの開催場所の施設会議室の提供と参加。また地域ネット会議に参加し、情報交換等を行っております。障害者支援や生活困窮者支援にあたっては、職業体験実習の受入れや実習訓練事業の委託を引き続き行った。職員研修においては、地域課題への取り組みを福祉職の大事な課題として繰り返し意識付けた。

②人材育成と業務連携体制作り

人材育成と業務連携体制の構築を意識的に迫ってきました。年 2 回の職員面談と個々の目標設定でスキルアップの方向付けと必要と思う内外研修への受講を勧めた。

③コンプライアンス

法令等の遵守の実施に努めた。

④ディスクロージャー

情報公開については、ホームページにおいて実施事業や折々の行事の報告と共に決算・事業報告、現況報告等基本情報の公開を行い、公正明快な親しまれる法人を目指した。

⑤インフォームド・コーポレーション

説明と協力については、自己決定と尊重を基本にご家族アンケートや懇談会、日々のご本人の様子、疾病や事故発生時の対応等の丁寧な説明と協力に努めた。そのことで、ご家族や関係者からの信頼を得るとともに、抱優館八乙女においては、今年度からの看取り介護への取り組みに繋がっている。

⑥個人の尊重と個人情報保護

福祉事業運営の基本であり、援助職にふさわしい人間性と基本的な点検を研修や委員会活動において培った。また必要なマニュアルの点検・作成を行っている。

[社会福祉法人やまとみらい福祉会運営事業]

平成 28 年度に実施した運営事業は以下のとおり。

・第 1 種社会福祉事業

特別養護老人ホーム抱優館八乙女(長期入所事業)

・第 2 種社会福祉事業

特別養護老人ホーム抱優館八乙女((介護予防)短期入所生活介護事業)

- やまとみらい八乙女保育園(小規模保育事業)
 就労移行支援事業所オルタ八乙女(障害福祉サービス)
 ・社会福祉事業(特別養護老人ホームと一体的に行う事業)
 ケアプランセンター抱優(居宅介護支援事業)

[各種外部研修・行政等主催研修参加状況]

開催日	名称	参加者	主催
5月13日	平成28年度宮城県社会福祉法人経営青年会 第1回勉強会	事務局長	宮城県青年経営会
7月1日	社会福祉法人あむ 視察研修	理事長 事務局長 生活支援課長 介護支援係長 看護係長 総務係長 介護員 事務員	法人
8月25日	平成28年度 仙台市社会福祉法人・施設職員研修事業 会計担当職員研修	本部職員	社会福祉法人社会福祉協議会
10月7日	シェア金沢視察	理事長 施設長 管理栄養士 介護員 事務員	法人
11月11日	社会福祉法人制度改正に関する説明会	本部職員	仙台市社会福祉協議会
12月7日	平成28年度「障害者職業生活相談員」講習	本部職員	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
12月7日	平成28年度 仙台市社会福祉法人・施設職員研修事業 役員研修	総務課長	仙台市社会福祉協議会
1月12日	平成28年度 社会福祉法人・社会福祉施設の階級別事務担当者研修会	本部職員	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会
1月20日	宮城県災害福祉広域支援ネットワークによる「宮城フォーラム」	本部職員	宮城県社会福祉法人経営者協議会
2月20日	平成28年度 高齢者福祉事業経営セミナー	事務局長 総務課長	全国社会福祉法人経営者協議会
2月22日	平成28年度「社会福祉法人会計実務者決算講座」	本部職員	全国社会福祉法人経営者協議会
2月27日	平成28年度 障害福祉事業経営セミナー	事務局長	全国社会福祉法人経営者協議会

特別養護老人ホーム抱優館八乙女事業実績報告書

[事業報告]

特別養護老人ホーム抱優館八乙女は、平成 27 年度に引き続き、『挑戦型社会福祉法人』として地域を念頭に業務を進めることと、介護の質を上げることへのチャレンジを基本方針として業務執行に努めた。

① 引き続き厳しい状況の中、月次収支実績や稼働率を意識し、入居待機から新規入居の流れをスムーズにすることや適切な労働時間・業務管理と介護用品の在庫管理に努め、関係職種の連携を課題に財務基盤の安定を追求した。結果、委員会活動やユニットリーダー及び委員会委員長などによる熱心な取組みで、残業時間の減少やオムツ・パットをはじめ、介護用品の的確な使用によるサービスの質の向上と経費の微小ではあるが削減につながり、職員の意識的な取組みも目に見えてきているところあり。引き続き取組みを強化して行く。

② また虐待や接遇の研修を全職員で取組み、より良質な介護サービス提供に努め、職員の業務への自覚的取組み、質の向上を求めてきたところです。障害者雇用の促進により、業務の効率的な分ち合いと助け合いの良い刺激、気風の醸成による職員のスキルと資質の向上を図ることで、全体の質の向上を目指した。特に、ユニットリーダーの業務責任と指導力の醸成を焦点に、職員の意見・要望把握に努めた。

③ 地域包括ケアの具体の先導的役割を果たすCSW（コミュニティ・ソーシャルワーカー）が挙げられる。東北学院大学で実施したCSW養成講座を介護支援課課長が受講し、修了した。

管理業務体制は、施設長職と事務長職、課長職、係長をはじめとした内部統制システムの整備に努めてきました。組織基盤の継続的安定化は今後も大きな課題である。

④ 入居者の安全確保は、感染症及び食中毒等について、厨房委託業者との連携、全職員参加の予防研修等により食中毒罹患者はゼロであった。その他感染症（インフルエンザ）は、長期においては単発に留まったが、ショートにおいて、1週間の新規受け入れ停止の事態となった。発生、持ち込みの予防対策として、来館者に対するうがい、手洗い、マスク着用の推進、職員の体調不良者に対する対応により、その他感染症も予防に努めた。一部職員の感染報告や受診の遅れがあったことから、今後も感染症対策への自覚的取組みを進めて行く。

平成 27 年 7 月には、嘱託医の変更があったが、スムーズな業務引き継ぎが行われ、入居者の健康管理体制上、支障なく移行ができています。平成 27 年度末には、認知症の入居の方へのより良い医療・介護のサービス提供を厚くするための精神科クリニック医師の協力医契約を行い、新年度から月 2 回指導を受けています。平成 28 年度は、看取り加算の体制を築き、平成 29 年 4 月から実施していく。

⑤ 平成 28 年度稼働率については、大きな課題を残した。介護保険改正による特養入居者の減少などを反映し、長期において昨年度実績を下回り、収益の減少を招くこととなった。29 年度は、この点を厳しく反省した体制構築を以って業務執行に当たることとした。

以下に利用実績を示す。

[入居者の要介護度別人数・年齢]

	要介護 1	2	3	4	5	平均	
	年齢	年齢	年齢	年齢	年齢	介護度	年齢
男		62.46	84.97	83.73	85.60	3.8	82.87
女	83.81	79.70	89.82	88.38	88.89	4.0	88.00
計	83.81	77.01	88.66	87.72	88.44	3.9	87.19

☆最高齢者 104 歳

[特別養護老人ホーム抱優館八乙女利用実績] 全 80 室平均入居者 77.28 人 稼働率 96.6%

月	平均入居者数	稼働率	月	平均入居者数	稼働率
4 月	77.6 人	97.0%	10 月	77.4 人	96.8%
5 月	77.7 人	97.1%	11 月	77.6 人	97.0%
6 月	77.4 人	96.8%	12 月	76.2 人	95.3%
7 月	77.5 人	96.9%	1 月	75.2 人	94.0%
8 月	78.3 人	97.9%	2 月	76.0 人	95.0%
9 月	77.2 人	96.5%	3 月	78.6 人	98.2%

※人数表示は小数点以下第 2 位を切り捨て

(介護予防) 短期入所生活介護抱優館八乙女事業実績報告書

[事業報告]

介護報酬改定や特養長期入居基準の重度化を反映し、ショート利用層も変化をしつつある。また、平成 29 年 4 月からの介護予防・日常生活自立支援総合事業の開始を前に、通所系サービスの事業所倒産や事業撤退も目立っている。その影響から、どの事業所においても利用者像の多様化と重度化が進行しており、入居者に対応した介護職員のスキルアップが求められている。ご利用者の希望に即ミスなく対応できる体制が強く求められた年度であった。

短期入所生活介護部門(ショートケア)は、在宅の方が利用対象であり、地域のケアマネージャーなどとの連携が課題で、そのことを念頭に、「在宅支援」と位置付け、年度初めの職員異動で陣容を整え、抱優館八乙女が地域福祉拠点として、地域包括ケアに果たす役割を担うこととした。結果、長期部門の赤字の増大をカバーし、平均稼働率は、目標の 85%を超え、87.9%の好結果となった。こうした伸びを見せたことは、職員が一体となってご利用の方々の信頼を得てきたことの証で、今後の事業展望を明るくしており、職員の成長を背景に、ミスの無い、さらに信頼されるショートステイを構築していきたい。

[(介護予防) 短期入所生活介護抱優館八乙女利用実績] 全 20 室

平均月延べ利用者数 534.8 人 稼働率 87.9%

月	延べ利用者数	稼働率	月	延べ利用者数	稼働率
4 月	551 人	91.8%	10 月	545 人	87.9%
5 月	537 人	86.6%	11 月	495 人	82.5%
6 月	509 人	84.8%	12 月	517 人	83.4%
7 月	570 人	91.9%	1 月	544 人	87.7%
8 月	568 人	91.6%	2 月	489 人	87.3%
9 月	530 人	88.3%	3 月	563 人	90.8%

[特別養護老人ホーム抱優館八乙女サービス提供実施状況]

① 住まいづくり

各ユニットにおける生活環境の適正化に努めた。平成 28 年度は、これまでのふれあい福祉作業所による清掃に加え、ユニット内においては、特に障害者雇用及び生活困窮者の就労支援で受け入れた職員によって、ユニット職員の業務量の軽減を図ることで厚みのあるケア体制作りを進めることができた。

② 安全・安心な美味しい食の提供

産直米・野菜と日清医療食品の協力、管理栄養士のミールラウンド及び嗜好調査、季節の料理提供等、安全で美味しい食の提供に努めた。

③ チームづくり

2 度の職員面談やユニットリーダーとの個別面談、諸会議などを積み重ね、業務体制の見直し、良い介護を課題に業務課題の抽出をした結果、ユニット、フロア間の情報伝達や記録方法のデータ化等を図ることにより、業務全体の改善を図ることができた。また服薬ミス、転倒など職員のスキルに起因するミ

スの根絶を目指し、看護係と共に『服薬マニュアル』の点検と見直し、確認作業の徹底など、事故のない業務遂行を課題に取り組んだ。

④ リスクマネジメント

リスクマネジメント委員会をはじめとする委員会設置とその活動は、年々、重要性を増しているところであり、平成 28 年度においては、毎月の事故報告やヒヤリハット事例の検討と事前予防のための「フォーユーレポート」をもって、点検と対応に努めた。特に、誤薬・服薬ミスは入居者の健康維持上重要であることから、看護・介護に加え、嘱託医等の多・他職種との連携によって改善し、発生予防のために服薬マニュアルの再度の作成と研修を実施し、人的ミスの防止に努めた。

⑤ 人材育成

厳しさを増す介護現場において、もっとも重要なことは人材の育成である。人的要因に起因するあらゆるリスクの発生防止に努めて取り組んできたが、面談や日常の指導において、特にリーダー層を中心に面談による課題抽出と配置転換と継続指導を実施し、自覚的取り組みと改善を行った。結果として、より良い職場環境の醸成と自主的な職員活動が得られつつある。しかしながら慢性的に介護及び看護職の不足が現在も続いており、引き続き職員募集を行いながら、研修や介護マニュアルの徹底等によって、よりよい介護の実現に努める。

[委員会活動報告]

【リスクマネジメント委員会】

○開催日 毎月第 2 火曜日 午後 1 時 15 分～

○構成メンバー 施設長、生活支援課職員、総務課職員、介護職員

○本年度の取り組み、良かった点

- ・昨年度は誤薬事故が多くあり、事故を少しでも減らす為服薬マニュアルを作り直した。
それに伴い、以下の研修を行い、施設全体で事故を減らす為の取り組みを行った。

①「誤薬について」

②「新しい服薬マニュアルの確認と服薬支援の演習」

○本年度の反省

- ・服薬マニュアル作成を中心とした活動になってしまった。
- ・同じ入居者様の事故が続いている現状で事故の分析、対策、立案が出来ず「見守り強化、気を付けろ」等の曖昧な対策を立てていることが多く、十分な検証がなされていない事例が多くあった。

【感染症予防対策委員会】

○開催日 毎奇数月第 3 木曜日 午後 1 時 15 分～

○構成メンバー 施設長、生活支援課職員、看護師、介護職員

○本年度の取り組み、良かった点

- ・全職員に食中毒予防研修やインフルエンザ・ノロウイルス予防研修を行い、感染症予防の周知徹底を呼びかけた。
- ・各委員が中心となり、浴室清掃やトイレ清掃時のマニュアルを完成させた。

これまでは各ユニットで清掃や消毒方法の違いにより、結果に差異が生じていたが、当マニュアル

を整備する事により、職員間での異動やヘルプ時にも手順の違いをなくし、同じ結果を出せる様になった。

- ・感染者が出た場合、マニュアルに沿って[報告、連絡、相談]を行いながら対応する事が可能になった。これまでは医務室や支援課が旗振りを行っていたが、個人がマニュアルを確認しながら能動的に行動出来るようになった。

○本年度の反省

- ・ショートの利用者、職員を中心に、インフルエンザが蔓延し、仙台市に報告するまでに至る事案と なってしまった。
- ・委員会の開催が隔月では、感染症が流行する時期に十分な話し合い、認識合わせができない。感染症が蔓延した場合に、臨時委員会を開催したが、職員の罹患も多く、想定した委員会の開催が行えなかった。

【身体拘束・虐待防止・ケア向上委員会】

○開催日 毎月第4火曜日 午後1時15分～

○構成メンバー 施設長、生活支援課職員、看護師、介護職員

○本年度の取り組み、良かった点

- ・職員に対し、以下の研修を行い、ケアに対する職員の意識・技術の向上を図る事ができた。
 - ①「尊厳、敬意、法人基本理念、コンセプトに基づいた良質なケアとは？」
研修概要：チェックリストによるケアの見直し
 - ②「現在入居されている3名（高次脳機能障害/認知症）の事例検討」
研修概要：グループワークで出た意見を参考に各ユニットで適切な対応を模索していく
 - ③「ユニット間の入れ替え研修」
研修概要：自分が働いている以外のユニットを客観的に観察し課題を発見してもらう
- ・「良いケアを行うための12箇条」を策定し、抱優館の職員全体で共通の意識を持つように試みた

○本年度の反省

- ・委員会の出席率が低く、どれだけ意識の向上が図れたのかが不明。
- ・活動計画や研修の意図が曖昧で、活動の目的がぶれていた。
- ・12箇条を基にした共通意識が職員の間で根付いていない。

【栄養管理委員会】

○開催日 毎月第1金曜日 午後1時15分～

○構成メンバー 施設長、生活支援課職員、介護職員

○本年度の取り組み、良かった点

- ・毎月の行事食の立案し、実施、反省（PDCAサイクル）を行う事ができた。
特に視覚に訴える色彩の良いメニューや一人ひとりに配布したランチョンマット、カード類は入居者からの評価も高かった。
- ・お味噌汁の調理実習を行い、ユニットごとに違っていた調理手順の統一化を図れた。
- ・試食会を開催し、栄養補助食品や味噌汁の原料の味噌の選定等、施設で提供する食事の品質向上を

図れた。

- ・食中毒予防とユニットの衛生管理について職員が共通の意識を持ち、予防対策を行えた。
- ・利用者や入居者の嗜好調査を実施し、食事の提供を通し、尊厳を重視したケアの一端を担った。
- ・委員会で決めたことや改善されたことがしっかりと他職員に展開され、ユニット間の能力差が少しずつなくなっていると感じた。

これは、各委員自身が意識も持って行動し、ユニット内で主体となって働きかけた結果だと思う。

○本年度の反省

- ・嗜好調査の結果、「温かい料理は温かく提供してほしい」という意見を受けた。
基本的な事だが、出来ていると思っていたことが実は出来ていなかったと判明した。
このことについては早急にフィードバックし、現在は委員が中心になって改善できている。

【排泄・褥瘡予防委員会】

○開催日 毎月第2水曜日 午後1時15分～

○構成メンバー 施設長、生活支援課職員、看護師、介護職員

○本年度の取り組み、良かった点

- ・以下の研修を行い、職員の意識・技術の向上を図れた
 - ①「褥瘡研修」(松尾嘱託医)
 - ②「拘縮の方のオムツ当て講座・陰洗の研修」(ユニ・チャーム横田氏)
 - ③「褥瘡・体位変換研修」(渡邊看護師)

本年度は、専門家を招いた事により、単なる座学だけでなく、相談及び解決までをスムーズに行う事ができた。

- ・介護用品の在庫確認を委員が持ち回りでを行い、誰か一人が負担を負う事が無いような仕組み作りを行えた。
- ・入居者の尿測のデータを取ることで、根拠に基づいた適切な水分補給や、排泄ケアができるようになった。
- ・褥瘡事例の報告を受け、部位や程度によるケアの方法を検討し、実施することができた。

○本年度の反省

- ・委員持ち回りでの排泄の研修の回数が少なかった(2回/年程度行えれば良いと思う)。

【行事企画・広報委員会】

○開催日 毎月第1月曜日 午後1時15分～

○構成メンバー 施設長、生活支援課職員、看護師、総務課職員、介護職員

○本年度の取り組み、良かった点

- ・外部団体による催し物の実施、季節行事の実施及び季節飾りの展示、クラブ活動の発足・運営、ニュースレターの発行・送付を実施し、入居者にも概ね好評だった。
※別紙「年間活動実績」を参照
- ・各委員が責任感を持ち概ね予定通りの運営が出来た。
- ・各委員が行事・広報活動を円滑に実施するために互いに助け合い知恵を出し合う様子も多く見られ、

委員同士の信頼関係も生まれてきたように思う。

- ・新しい取り組みとして外部団体に頼らず、施設職員のみで立案・運営するクラブ活動を発足させた。アナウンスを行ったところ、多数の入居者に参加頂き、手ごたえを感じた。
- ・自分たちで作成した計画に沿った行事運営が出来た。
- ・出張デパートが入居者様に好評でとても良かった為、今後も継続していきたい。
- ・子供達が来る各行事（三絃小田島流の子供達による三味線演奏等）が入居者様にとても好評だった。

○本年度の反省

- ・委員だけでの運営には限界があり、委員のシフト調整だけでは足りない場面が多々見られた。委員以外の職員にも行事企画・広報委員会の活動に理解と協力を得られるように今後も継続して発信していく必要がある。
- ・委員同士及び所属・関係部署への周知が徹底されておらず、当日になって慌てる場面が何度か見られた。準備・連絡不足は事故の原因にもなるため、委員一人ひとりが責任感を持ち積極的に確認・連絡事項を発信していくことが必要。特に各実行委員長となった委員は、担当する行事・広報活動の責任分担を明確にし、不確かな部分は積極的に関係部署へ確認して各委員へ周知徹底する中心的な役割を担う必要がある。
- ・物品の管理ができておらず、物品の手配に不備がある等した。
今後は担当者を決めて管理していくような仕組み作りをしたい。
- ・一部のボランティア団体の演目が、高齢者には馴染まず、楽しめていない様子も見受けられた。
- ・ユニット職員が参加していない場面が見受けられた。
ユニット以外の職員だけでは入居者様の情報が少なく、適切な見守りができず、戸惑う場面があった。
- ・サーバー内に、行事の様子を撮影した画像データを格納するフォルダが散在し、情報共有がし辛い。

【安全衛生委員会】

○開催日 毎月第3水曜日 午後1時15分～

○構成メンバー 施設長、総務課職員、介護職員

○本年度の取り組み、良かった点

- ・上半期は、体を使う委員会活動とし、空調機器の設備点検等、定期的に設備を点検・メンテナンスを行う良い機会となっていた。
- ・下半期は、座学を中心に頭を使う委員会活動とし、日々の生活の中で少しずつ体質改善や生活習慣病の予防対策の周知を行う事が出来た。

○本年度の反省

- ・上半期は空調機器等の設備点検や、エアコンフィルター清掃などの設備に関する取り組みを行っていたが、期の途中からは頻度が少なくなってしまった。
- ・委員会への出席率の低迷が見受けられた。

【防災対策委員会】

○開催日 毎月第1火曜日 午後1時15分～

○構成メンバー 施設長、看護師、総務課職員、介護職員

○本年度の取り組み、良かった点

- ・防災マニュアルの見直しやレスキューシートを使用した訓練等で充実した委員会を開催できた。
- ・避難訓練時のマニュアル作成や見直し（PDCA サイクルの実行）ができた。
- ・避難時のマニュアル見直しや、活動内容のアンケートを取る等、新たな試みを行う事ができた。

○本年度の反省

- ・避難訓練は出来たが、他の訓練（炊き出し等）ができなかった。
- ・避難時に使用する機械の使用法の周知ができていなかった事が訓練時に判明した。
- ・避難訓練に参加した職員しか避難時の行動を理解できていなかった為、全職員に対しての周知方法を検討する必要がある。

[各種外部研修・行政等主催研修参加状況]

開催日	名称	参加者	主催
4月27日	平成28年度 総会	施設長	仙台市老人福祉施設協議会
5月12日	平成28年度 東北ブロック老人福祉施設大会	生活支援課長 生活相談員 機能訓練指導員 介護員	東北ブロック老人福祉施設協議会
5月14日	ニュートリションセミナー	管理栄養士	NUTRI
5月17日	平成28年度宮城県介護職員合同入職式	介護員 (新卒2名)	宮城県介護人材確保協議会
5月19日	平成28年度仙台市社会福祉法人・施設職員研修事業 新任職員研修	介護員 (新卒2名)	仙台市社会福祉協議会
5月28日	ケアマネジメントセミナー	機能訓練指導員	宮城県ケアマネージャー協会
6月2日	平成28年度 指定（地域密着型）介護老人福祉施設集団指導	生活支援課長 介護支援専門員	仙台市
6月2日	平成28年度 指定（介護予防）短期入所生活介護事業者集団指導	生活相談員	仙台市
6月4日	第1回 講習会	看護師	宮城 ICN ネットワーク
6月7日	平成28年度 OJT 指導者研修	介護員	宮城県社会福祉協議会
6月11日	症状から学ぶ！美濃先生の高齢者急変時対応セミナー	介護員	全国高齢者施設看護師会
6月15日	平成28年度 「介護職スキルアップ研修」	介護員	仙台市健康福祉事業団
6月22日	介護サービスの質向上に関する市町村担当、事業所管理者等研修会	施設長 生活支援課長	国民健康保険団体連合会

6月23日	仙台市認知症介護実践研修	介護員	仙台市健康福祉事業団
6月23日	要介護（要支援）認定調査に係る介護認定調査員新任研修	介護員	仙台市健康福祉局
6月25日	介護施設での看取りのあり方	介護員	仙台介護サービスネットワーク
7月6日	宮城県喀痰吸引等研修事業指導要請講習	看護師	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会
7月8日	看護師の特定行為に係る研修制度説明会	看護係長	仙台市保健所
7月13日	平成28年度 泉区管内給食施設従事者研修会	管理栄養士	泉区
8月4日	とことん実技のトランスファー研修	介護員	お茶の水ケアサービス学院
8月5日	平成28年度 宮城県社会福祉施設事務担当職員研修	事務員	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会
8月10日	平成28年度 クレーム対応研修	生活相談員	宮城県社会福祉協議会
9月1日	平成28年度 福祉レクリエーション研修	介護員	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会
9月7日	平成28年度 仙台市認知症介護研修	介護員	公益財団法人仙台市健康福祉事業団
9月8日	平成28年度 東北ブロック老人福祉施設研究会	施設長 管理栄養士 看護師 介護員	仙台市老人福祉施設協議会
9月24日	認知症介護フォーラム2016	施設長 介護員	全国老人福祉施設協議会
10月1日	介護元気DAそう会2016	施設長 介護員	社会福祉法人青葉福祉会
10月12日	第2回相談員・栄養士職員研修 「栄養士研修」	管理栄養士	仙台市老人福祉施設協議会
10月14日	介護送迎担当者安全運転講習会	生活相談員	仙台市老人福祉施設協議会
10月14日	認知症の基礎研修	介護員	いずみ往診クリニック
10月14日	第15回地域連携勉強会	管理栄養士 介護員	医療法人財団明理会
10月20日	平成28年度 仙台市社会福祉法人・施設職員研修事業 メンタルヘルス研修	介護員	仙台市社会福祉協議会
10月30日	第1回 東北地方褥瘡セミナー	看護師 介護員	褥瘡学会東北地方会事務局
10月31日	ノロウイルス感染予防研修会	看護係長	仙台市泉区保健福祉センター
11月11日	特別セミナー・商品展示会	管理栄養士	日清医療食品

12月3日	仙台黒川支部看護管理者の会	看護係長	宮城看護協会
12月15日	平成28年度 アンガーマネジメント研修	介護員	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会
12月15日	平成28年度 仙台社会福祉法人・施設職員研修事業 中堅職員研修	介護員	仙台市社会福祉協議会
12月15日	平成28年度 第2回「居宅・施設ケアマネージャー研修会」	介護支援係長	公益財団法人仙台市健康福祉事業団
12月18日	激動の2018年介護保険法改正の全部解説と事前対策これから始める新しい介護保険外サービスとは何か	施設長 生活相談員	NDソフトウェア株式会社
12月21日	権利擁護事例検討会	介護員	宮城福祉オンブズマンネットワーク「エール」
1月12日	介護現場におけるリスクマネジメント	介護員	一般社団法人宮城県介護福祉士会
1月17日	平成28年度 福祉施設栄養士研修会	管理栄養士	仙台市保健所
1月24日	平成28年度 介護スキルアップ研修（第9回）	介護員	公益財団法人仙台市健康福祉事業団
2月8日	仙台市職員研修会 （給食施設事例発表研修会）	管理栄養士	仙台市保健所
2月10日	平成28年度 ショートステイ事業所の情報交換会	生活相談員	仙台市老人福祉施設協議会
2月16日	平成28年度 仙台市認知症介護基礎研修	介護員	公益財団法人仙台市健康福祉事業団
2月22日	第9回東北公済病院看護連携のつどい	看護師	東北公済病院
3月10日	平成28年度「人権擁護研修会」	施設長 生活相談支援係長	仙台市老人福祉施設協議会
3月21日	介護記録研修会	介護員	お茶の水ケアサービス学院

ケアプランセンター抱優 事業実績報告書

[事業報告]

平成 28 年 5 月 1 日に、特別養護老人ホーム抱優館八乙女の 2 階に事業所開設。職員は、所長兼主任介護支援専門員、介護支援専門員の 2 名体制での事業開始となった。法人開設当初、一時事業を展開していたが、休止。今回は、再開ではあるが、これまでの実績はなく、まったくの新規開設となった。

そのため、まずは、事業開始の周知を図るため、関係各機関へのあいさつ周りからはじめ、事業所としての周知を努めた。地域包括支援センターを中心に、利用者の紹介を受け、相談対応を実施。相談対応数としては 50 名を越える対応を行ったが、利用実績が発生しないと収益にはならないため、収益としては、予想をしたまわる結果となった。

新年度に向け、事業所が地域住民に認知され、信頼されるような取組みを今後とも継続していきたい。

[要介護度別請求実績]

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計	要支援
5 月	2	0	0	0	0	2	0
6 月	5	2	0	1	1	8	1
7 月	1 1	2	1	1	1	1 6	3
8 月	1 2	4	1	1	2	2 0	2
9 月	1 2	5	1	1	2	2 1	4
10 月	1 2	5	1	2	3	2 3	5
11 月	1 3	5	2	3	3	2 6	6
12 月	1 4	5	2	3	2	2 6	6
1 月	1 2	5	2	4	1	2 4	6
2 月	1 4	6	2	2	1	2 5	1 1
3 月	1 9	8	3	5	0	3 5	1 1

[各種外部研修・行政等主催研修参加状況]

受講月日	会議・研修名	実施主体
4 月 19 日	よめごと会議	泉区障害者自立支援協議会
5 月 16 日	主任介護支援専門員更新研修	宮城県
5 月 17 日	認知症カフェ開催基礎研修	仙台市
5 月 17 日	よめごと会議	泉区障害者自立支援協議会
5 月 17 日	ケアマネサロン	八乙女地域包括支援センター
5 月 19 日	主任介護支援専門員更新研修	宮城県
5 月 24 日	主任介護支援専門員更新研修	宮城県
5 月 24 日	第 1 回八乙女地域包括ケア会議	八乙女地域包括支援センター
6 月 3 日	主任介護支援専門員更新研修	宮城県

6月5日	主任介護支援専門員更新研修	宮城県
6月7日	主任介護支援専門員更新研修	宮城県
6月15日	仙台市集団指導	仙台市
6月15日	介護支援事業所等介護支援専門員研修会	仙台市
6月16日	第1回ケアマネージャー交流会	青葉訪問看護ステーション
6月17日	平成28年 第1回「課題講座ふたば」	双葉ヶ丘地域包括支援センター
6月21日	よめごと会議	泉区障害者自立支援協議会
6月26日	主任介護支援専門員更新研修	宮城県
6月28日	主任介護支援専門員更新研修	宮城県
7月6日	平成28年度宮城県介護予防支援従事者研修会	仙台市
7月7日	泉区内居宅介護支援事業所学習会	泉区包括支援センター
7月14日	居宅介護支援事業所等介護支援専門員研修会	仙台市
7月14日	ケアマネ研修会	八乙女地域包括支援センター
7月21日	第2回ケアマネージャー交流会	青葉訪問看護ステーション
7月26日	よめごと会議	泉区障害者自立支援協議会
7月29日	鶴ヶ谷包括 つるとカフェ	鶴ヶ谷地域包括支援センター
8月23日	よめごと会議	泉区障害者自立支援協議会
8月23日	八乙女地域包括地域ケア会議	八乙女地域包括支援センター
9月4日	医療・介護の情報連携の取り組み	宮城県ケアマネージャー協会
9月14日	仙台市ケアマネジメント研修会	仙台市
10月17日	2016認知症介護セミナー	認知症介護研修研究センター
10月18日	よめごと会議	泉区障害者自立支援協議会
10月21日	ケアマネ研修会	八乙女地域包括
11月10日	認知症ネットワーク会議	八乙女地域包括
12月12日	居宅介護支援事業所等介護支援専門員研修会	仙台市
12月13日	フランスベッド研修	フランスベッド
12月14日	課外講座ふたば「ケアプランに活かせる薬の話」	双葉ヶ丘地域包括支援センター
12月15日	平成28年度居宅・施設ケアマネージャー研修会	仙台市老人福祉施設協議会
1月7日	地域ネットワーク会議	八乙女地域包括支援センター
1月25日	ケアマネサロン	八乙女地域包括支援センター
2月9日	居宅介護支援事業所等介護支援専門員研修会	仙台市
3月8日	八乙女地域包括ケア会議	八乙女地域包括支援センター
3月13日	仙台市集団指導	仙台市
3月15日	認知症介護研修企画会議	仙台市
12月20日	八乙女地域包括地域ケア会議	八乙女地域包括支援センター

やまとみらい八乙女保育園 事業実績報告書

[事業報告]

事業開始2年目は、4月1日より0歳児4名・1歳児7名・2歳児8名 計19名、定員いっぱいでの好調なスタートとなった。途中仙台市外への転居の為8月2歳児1名・12月0歳児1名退園児が出たが、11月2歳児1名・1月0歳児1名途中入園で定員割れの状況を最小限度に留め、比較的安定した運営となった。

園児の安全確保においては、11月上旬園児の体調不良から端を発し感染性胃腸炎が大流行し、衛生管理の徹底と保護者への注意喚起、体調不良児に対する即時対応に努めるものの、園児職員の欠席が10名に達し内職員1名が入院する事態となり仙台市に報告。仙台市泉区保健福祉センターの立ち入り調査実施を受け、数名の園児からノロウイルスが検出されたが1週間ほどで終息した。保育中の事故は転倒や擦過傷等の報告があったものの職員間での事故報告や安全管理の徹底により病院への通院や救急搬送などの必要な大きな事故は起こっていない。

平成28年度卒園児は8名、4名が認可保育所・4名が幼稚園への入園が決定し、懸念していた認可保育所は第一次選考会議でスムーズに内定している。5年間の経過期間終了の平成31年度末までに、保育情勢を見極めながら連携施設の設定に取り組む必要がある。

[やまとみらい八乙女保育園利用実績] 定員 19名

月	入園児数			退園児数			合計
	0歳児	1歳児	2歳児	0歳児	1歳児	2歳児	
4月	4	7	8	0	0	0	19名
5月	4	7	8	0	0	0	19名
6月	4	7	8	0	0	0	19名
7月	4	7	8	0	0	0	19名
8月	4	7	8	0	0	1	19名
9月	4	7	7	0	0	0	18名
10月	4	7	7	0	0	0	18名
11月	4	7	8	0	0	0	19名
12月	4	7	8	0	0	1	19名
1月	4	7	8	0	0	0	19名
2月	4	7	8	0	0	0	19名
3月	4	7	8	0	1	0	19名

[各種会議開催状況]

保育園全体の連携や各職種連携のため次の会議を開催し、業務の改善を図った。

会議名	議題	開催日	構成メンバー
管理者会議	現状報告、情報連絡、課題提起・検討、収支報告	4/8、5/6、6/3、7/8、8/5 9/9、10/14、11/11、12/9 1/13、3/10	理事長、事務局長、総務課長、総務係長、各事業管理者
職員会議	保育・給食状況報告、行事反省、次月予定、課題提起・検討、情報・意識の共有	4/6、5/2、6/2、7/1、8/1 9/1、10/7、11/2、12/2 1/5、2/6、3/3	園長、保育士、保育従事者、栄養士、調理員
クラス会議 (ほし組)	クラス状況、情報交換 ケース対応把握	4/13、5/16、6/15、7/14 8/18、9/12、10/14、11/17 12/15、1/19、2/13、3/17	ほし担任保育士 パート保育士
クラス会議 (つき組)	クラス状況、情報交換 ケース対応把握	4/14、5/17、6/16、7/12 8/17、9/13、10/17、11/21 12/16、1/20、2/15、3/16	つき担任保育士 パート保育士
クラス会議 (そら組)	クラス状況、情報交換 ケース対応把握	4/15、5/18、6/17、7/15 8/19、9/14、10/18、11/25 12/19、1/17、2/15、3/14	そら担任保育士 パート保育士
給食会議	現状報告、情報連絡、課題提起・検討	4/19、5/20、6/22、7/21 8/23、9/23、10/19、11/24 12/20、1/12、2/24、3/22	園長、栄養士、調理員

[各種外部研修・行政主催研修参加状況]

保育のスキルアップや情報交換、小規模保育制度の理解を深めるため、以下の研修等に参加した。

開催日	名称	参加者	主催者
5/9	平成 28 年度第 1 回子育て支援関係機関連絡会	園長	泉区家庭健康課
5/21	そらのこ保育園研修	保育士	そらのこ保育園
5/24	平成 28 年度 1・2 歳児担当者研修	保育士	仙台市子供未来局
5/27	平成 28 年度障害児保育研修	保育士	仙台市子供未来局
6/13	平成 28 年度第 2 回子育て支援関係機関連絡会	園長	泉区家庭健康課
6/13	平成 28 年度栄養士研修	栄養士	仙台市子供未来局
6/23	平成 28 年度第 1 回乳幼児研修会	保育士	仙台市子供未来局
6/27	平成 28 年度小規模保育事業施設長研修	園長	仙台市子供未来局
7/12	平成 28 年度第 2 回乳児研修会	保育士	仙台市子供未来局
7/13	平成 28 年度給食従事者研修会	栄養士	仙台市泉区保健センター

9/17	平成 28 年度 仙台市保育所連合会保育所職員研修講演会	保育士	仙台市子供未来局
9/24	平成 28 年度 仙台市保育所連合会保育所職員研修講演会	保育士	仙台市子供未来局
9/26	平成 28 年度小規模保育事業施設長研修	園長	仙台市子供未来局
10/13	たいはく★元気っこ応援隊！研修会	園長	太白区家庭健康課
11/4	せんだい子育て支援者ネットワーク交流会 2016	園長	仙台市子供未来局
11/8	平成 28 年度私立保育園（所）長 部会保育士研修会	保育士	一般社団法人宮城県保育協議 会
11/28	児童虐待対応講演会	園長	仙台人権啓発活動地域 ネットワーク協議会
2/1	保育所施設長研修	園長	一般社団法人宮城県保育協議 会
2/2	リスクマネジメントセミナー研修	園長	(株) オンワード・マエノ
3/15	小規模保育事業・事業所内保育事業施設長会議	園長	仙台市子供未来局

就労移行支援事業所オルタ八乙女 事業実績報告書

[事業報告]

オルタ八乙女は、昨年5月に指定障害者就労移行支援事業所としてスタートをきり1年が経過。この1年で職員体制を固めながら、法人内部および各関係機関との連携、利用者獲得等、事業運営に係る様々な課題の整備に努めてきた。

そのような取り組みの中で、私どもが障害者就労支援の核心と考える「カスタマイズ就業支援」の考え（障害のある方の特性や強みを生かした個別支援と、雇用する事業所とのマッチングの徹底、事業主支援など）が徐々に浸透しつつあり、オルタ八乙女の存在意義が認識されつつある。

平成28年度、オルタ八乙女の利用契約者は10名であったが、そのうち3名が就労に結びつき、一定の就職実績につなげることができた。

[オルタ八乙女利用実績]定員20名

月	利用者数		
	契約者数	新規	退所
5月	0	0	0
6月	3	3	0
7月	3	0	0
8月	5	2	0
9月	6	1	1
10月	6	1	0
11月	7	2	1
12月	7	0	0
1月	7	0	0
2月	8	1	1
3月	8	0	0

[各種会議開催状況]

外部会議・研修

	研修内容	主催
6/22	・アーチル発達障害基礎講座	仙台市北部発達相談支援センター
6/22	・就労移行支援事業所等連絡会議	仙台市障害者就労支援センター
6/27	・全国就業支援ネットワーク定例研究・研修会	特定非営利法人全国就労支援ネットワーク
7/8	・健康教室「ヨガ」	仙台市精神保健福祉団体連合協議会
7/12	・成人施設中堅者研修会①	仙台市南部発達相談支援センター
7/14	・宮城就業支援ネットワーク総会	宮城就業支援ネットワーク
	・精神保健福祉スキルアップ研修	仙台市精神保健福祉団体連絡協議会

8/2	・成人施設中堅者研修会②	仙台市南部発達相談支援センター
8/22	・就労支援者の支援スキル向上のための研修会	仙台公共職業安定所
8/24	・雇用現場における障害者の権利擁護等に関する研修	仙台市健康福祉局
8/24	・BCP 研修	仙台市障害企画課
8/26	・障害者福祉施設職員研修	宮城県社会福祉協議会
9/14	・精神保健福祉スキルアップ研修	仙台市精神保健福祉団体連絡協議会
9/17~18	・精神保健福祉士実習指導者講習会	東北福祉大学
9/28	・成人施設中堅者研修会③	仙台市南部発達相談支援センター
9/29	・障害者雇用促進セミナー	仙台市健康福祉局
10/5	・泉区アルコール問題関連研修	泉区高齢障害課
10/11	・アーチル発達障害基礎講座	仙台市北部発達相談支援センター
10/13	・障害者雇用促進セミナー	仙台市障害者就労支援センター
10/14	・コノコノセミナー	県南障害者就業・生活支援センター
10/27	・就労移行支援事業所等連絡会議	仙台市障害者就労支援センター
10/28	・成人施設中堅者研修会④	仙台市南部発達相談支援センター
10/28	・仙台福祉事業所合同説明会	はあとぼーと
11/1	・宮城県サービス管理責任者研修	宮城県社会福祉協議会
11/2	・障害者就業・生活支援センター北海道・東北ブロック大会	宮城就業支援ネットワーク
11/4	・難病の方に対する雇用支援について	宮城県難病相談支援センター
11/7	・精神障害者雇用推進セミナー	仙台公共職業安定所
11/8	・成人施設中堅者研修会⑤	仙台市南部発達相談支援センター
11/10	・高校情報交換会	仙台市北部発達相談支援センター
11/12	・医療機関に対する精神障害者の就労支援ノウハウの普及・導入支援事業所研修会	公益社団法人日本精神科診療所協会
11/15	・健康教室「ヨガ」	仙台市精神保健福祉団体連合協議会
11/25	・宮城県医療観察精度研修会	仙台保護観察所
12/1	・精神保健福祉スキルアップ研修	仙台市精神保健福祉団体連合協議会
12/1	・製菓会社のグループ工業での障害者雇用	仙台市障害者支援課
12/13	・宮城県児童発達支援管理責任者研修	宮城県社会福祉協議会
12/15	・アンガーマネジメント研修	宮城県社会福祉協議会
1/25	・成人施設中堅者研修会⑥	仙台市南部発達相談支援センター
1/26	・健康教室「ヨガ」	仙台市精神保健福祉団体連合協議会
2/1	・障害者福祉センター医療的ケア研修「てんかん」	仙台市健康福祉局
2/6	・仙台市福祉事業所合同説明会実行委員会	はあとぼーと
2/8	・宮城県アディクション問題研究会	宮城県アディクション問題研究会
2/15	・精神保健福祉スキルアップ研修「睡眠を学ぶ」	仙台市精神保健福祉団体連合協議会
2/16	・高校情報交換会	仙台市北部発達相談支援センター
2/17	・障害のある方の健康及びスポーツについて考える各機関・	障害者総合支援センター

2/24	団体の取り組みについて ・就労移行支援事業所等連絡会議	仙台市障害者就労支援センター
2/26	・性加害者再犯防止に向けた支援者研修	NPO 法人 PandA-J
2/28	・難病支援事例検討会	仙台市障害者総合支援センター
3/3	・ともに働くを考える	東京都ビジネスサービス株式会社
3/4	・仙台市障害福祉サービス事業者等集団指導	仙台市健康福祉局
3/17	・健康教室「ヨガ」	仙台市精神保健福祉団体連合協議会

外部企画行事

	企 画	主 催
9 月	仙台市障害福祉事業所合同説明会	はあとぽーと
1 2 月	障害者就労支援機関 EXPO	宮城労働局

内部会議

会議名	議 題	開催日	構成メンバー
ケース共有	・訓練状況、利用者の情報共有および対応の検討 ・業務連絡、翌日の予定の確認	毎日 17:30～18:00	全職員
スタッフミーティング	・カリキュラム内容の調整、運営、役割分担、日程調整 ・支援方法、情報、意識の摺合せ	毎週（水） 14:00～15:00	就労支援員 生活支援員 職業指導員
職員会議	・当月（翌月）の予定 ・計画に対する進捗の摺合せおよび課題検討	毎週（水） 15:00～18:00	全職員

* 1 2 月 1 9 日（月）オルタ八乙女にて避難訓練実施